



①花束やブーケは予算に応じてオーダー可能
②吉田さんのセンスが光るフラワーリースとスタンド花
③真っ赤なポインセチアは冬のギフトにもおすすめ

Information



花の山口
〒850-0026 長崎市古町30番地
☎095-822-9300 ☎095-821-8044
Instagram hananoyamaguchi
営 8:30~18:00
休 年中無休



花の山口
代表 吉田 賢 さん

人生に色どりを添える花を

今回のがんばってますは、中島川沿いに店を構え、フラワーギフトや冠婚葬祭の花装飾など、様々なシーンで活躍する花を季節によってバラエティ豊かに取り揃えている生花店、「花の山口」の代表・吉田賢さんをご紹介します。

半 世紀続く花屋を引き継ぐ
花に関する知識はほとんどない20歳の頃、配達だったら私にもできるだろうという軽い気持ちで同店のアルバイトとして花業界に足を踏み入れた吉田さん。「先代やお客様から花の良さを教えていただいたり、花と接していくうちにどんどん花の楽しさに気づき魅力に引き込まれていきました」

その後、33歳の時に先代が体調を崩したことをきっかけに、先々代から50数年続いているこの店を守つていきたいという一心で同店を引き継ぐことに。「屋号は花の山口のままですが、時代とともに変化できる花屋として生き残っていきたくて」と話す。

高 品質の花を届けたい
自宅に飾る切り花や鉢植えをはじめ、花束やスタンド花など幅広いサービスを提供している同店のショーケースには、様々な種類の生花がずらりと並び、長崎は花の産地として有名で、カーネーションやスイートピー、トルコ桔梗などは品質が良く全国へ出荷されている。「こうした生産者の方々から仕入れる花は見映えも良いので、自信をもって提供で

会話の中から得たヒントを活かし、より自分らしいアレンジができるようさらにデザイン力や提案力を伸ばしていきたいですね」

楽 しいフラワーライフを
近年、花業界では経営者の高齢化や後継者不足、都心への生花の流出による価格高騰など様々な問題に直面しているという。そんな状況を何とか切り抜けようと、花業界の若手グループで青年部を結成し、アレンジイベントなどを不定期に開催している。「イベントを通して花に興味を持ってもらうだけでなく、花を飾る文化も伝えていけたらと思っています。最近では11月22日の『いい夫婦の日』や2月14日の『フラワーバレンタイン』など、男性から女性に花を贈る機会も増えています。このような花を贈る文化が浸透して、生活の中に気軽に花を取り入れてもらえたら嬉しいですね」

これから冬に向けて、透明感を増した色鮮やかな花がシーズンを迎える。「クリスマス定番となつているポインセチアやシクラメンの鉢植えはイベントシーズンにぴったりです。大切な人と過ごす時間に、色どりの花を添えてみるのもいいですね」と笑顔を見せた。

「心に残るアレンジを提供」
花束や冠婚葬祭の会場に飾る花は、誰もが一目見て感動できるようなアレンジになるよう心掛けている吉田さん。実は、1級フラワー装飾技能士の資格を持つ。それでも色の組み合わせにも流行があるため、コンテストや有名なフラワーアーティストの作品を見たり、ラッピングペーパーなどの資材の展示会に出向くなど、日々研究を重ねている。「満足のいくコーディネートができたときはモチベーションが上がります。お客様との

「心に残るアレンジを提供」
花束や冠婚葬祭の会場に飾る花は、誰もが一目見て感動できるようなアレンジになるよう心掛けている吉田さん。実は、1級フラワー装飾技能士の資格を持つ。それでも色の組み合わせにも流行があるため、コンテストや有名なフラワーアーティストの作品を見たり、ラッピングペーパーなどの資材の展示会に出向くなど、日々研究を重ねている。「満足のいくコーディネートができたときはモチベーションが上がります。お客様との

